

FAX通信

いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 7. 29
週報第 801号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第30週 (7/20~7/26)	
	発生数 (人)	前週との比較
感染性胃腸炎	5 (6)	↓
咽頭結膜熱	2 (1)	↑
突発性発疹	1 (3)	↓
溶連菌咽頭炎	0 (3)	↓

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 第29週 (7/13~7/19)
＜全県の発生状況＞
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より6%減少)
2位：突発性発疹 (全県で前週と同規模)
3位：溶連菌咽頭炎 (全県で前週より26%減少)
4位：手足口病
5位：流行性角結膜炎
県内 警報・注意報
警報・注意報はありません

新型コロナのため、例年通りとはいきませんが



楽しく過ごすためのポイント

○こまめな「手洗い」

○積極的な換気

○三密（密閉、密集、密接）をさける

○人と人との距離がとれない場合は、マスクをつける

○発熱・風邪症状のある場合は、無理な外出は控える

○情報は行政機関等で確認し、不確かな情報に惑わされない

○免疫力を高めるため、十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事を心がける



横手地域・学校欠席者情報 (7/27)

感染症情報収集システムより (人)

施設 (数)	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
保育所・園 (35)								3
小学校 (22)								夏休み
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校								

他にも工夫をしながら、夏休みを楽しく過ごしましょう！

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



20. 8. 5
週報第 802 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第31週(7/27~8/2)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	4 (5)	
突発性発疹	2 (1)	
溶連菌咽頭炎	1 (0)	
咽頭結膜熱	0 (2)	

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況
第30週(7/20~7/26)

<全県の発生状況>

- 1位：感染性胃腸炎
(全県で前週より1.3倍に増加)
- 2位：突発性発疹
(全県で前週より22%減少)
- 3位：溶連菌咽頭炎
(全県で前週より24%減少)
- 4位：水痘
- 5位：手足口病

県内 警報・注意報

注意報：水痘(大館)

夏は「とびひ」が増える季節です

横手地域・学校欠席者情報(8/3)

感染症情報収集システムより(人)

施設(数)	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
保育所・園 (35)							1	5
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校(7)								
特別支援 学校								



○「とびひ」とは?

擦り傷や、虫刺され、あせも、湿疹などでできた浅い傷から、黄色ブドウ球菌等の細菌が入り込んで感染することで発症します。

手についた細菌で感染が広がることが多いため、かきむしったり、鼻をほじったりすることで広がります。



○日常生活の注意点

手洗い、爪を短く切っておく、鼻をほじらないようにしましょう。

清潔を保つために、シャワーなどで優しくきれいに洗い流しましょう。

兄弟がいる場合は、他の子供たちの後から入浴するようにしましょう。

治るまでプールは控え、タオルや衣類などの共用も避けましょう。

とびひの症状が疑われたら、皮膚科や小児科を受診しましょう。
飲み薬や、塗り薬で治療しますので、医師の指示に従いましょう。

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 8. 12
週報第 803号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第32週 (8/3~8/9)	
	発生数 (人)	前週との比較
手足口病	14 (0)	↗
突発性発疹	3 (2)	↗
感染性胃腸炎	2 (4)	↘
溶連菌咽頭炎	1 (1)	→

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 第31週 (7/27~8/2)
<全県の発生状況>
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より20%減少)
2位：手足口病 (全県で前週の4.1倍)
3位：溶連菌咽頭炎 (全県で前週より23%減少)
4位：水痘
5位：突発性発しん
県内 警報・注意報
警報・注意報はありません

手足口病急増！！

コロナ予防対策を頑張っているせい、「今年は手足口病などの夏かぜの発生が少ないかな～」と思っていたところですが、ここに来て、手足口病が急増！！

今一度手洗いの徹底(おむつ交換の後には特に)とタオルなどの共有を避けましょう。

横手地域・学校欠席者情報 (8/11)

感染症情報収集システムより (人)

施設 (数)	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
保育所・園 (35)							1	4
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校								



手足口病の原因のウイルスは複数あるので、かかったことのないウイルスに感染すると、大人でもかかる場合があります。

大人の場合、発しんの痛みが強く出たり、インフルエンザにかかる前のような全身倦怠感、悪寒、関節痛や筋肉痛などの症状がでることもあります。

子どもが手足口病にかかった後、家族に怪しい症状が出たら、医療機関を受診しましょう。

様々な感染症を予防するのに、コロナ対策が役に立ちます。

いつもと違う夏、工夫しながら安全に過ごしましょう。





こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第33週 (8/10~8/16)	
	発生数 (人)	前週との比較
手足口病	10 (14)	
感染性胃腸炎	3 (2)	
突発性発疹	2 (3)	
溶連菌咽頭炎	1 (1)	

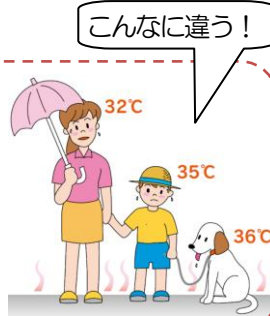
※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 第32週 (8/3~8/9)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より5%減少)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より4.2倍)
3位: 手足口病 (全県で前週と同規模)
4位: 咽頭結膜炎
5位: 突発性発しん
県内 警報・注意報
警報・注意報はありません

感染症ではないけれど

熱中症に要注意!

子どもは大人より暑さに弱く、照り返しの影響を受けやすいのですが、自分では予防ができないことがあるので、周りの大人が声をかけたり、気にかける必要があります。



- <予防>
- 1 こまめな水分補給
 - 2 気温と体温に合わせて衣類を調節する
外出時は帽子も忘れずに
 - 3 こまめに日陰や室内で休憩する
 - 4 車内や室内では適切なクーラーの使用を
クーラー使用中でも車内に置き去りにしないようにしましょう

ポイント



体を効果的に冷やすには、首や脇の下、足の付け根など、太い血管に近いところを冷やしましょう。

横手地域・学校欠席者情報 (8/17)

感染症情報収集システムより (人)

施設 (数)	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
保育所・園 (35)		2					2	2
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校								



いでは

こちらからもご覧いただけます <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/hira-fuku>

FAX通信



発行:平鹿地域振興局福祉環境部

TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 8.26
週報第 805号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第34週 (8/17~8/23)	
	発生数 (人)	前週との比較
感染性胃腸炎	10 (3)	↗
手足口病	5 (10)	↘
突発性発疹	2 (2)	→
溶連菌咽頭炎	1 (1)	→

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況
第33週 (8/10~8/16)

<全県の発生状況>

- 1位: 感染性胃腸炎
(全県で前週より28%減少)
- 2位: 溶連菌咽頭炎
(全県で前週より69%減少)
- 3位: 手足口病
(全県で51%減少)
- 4位: 突発性発しん
- 5位: 流行性角結膜炎

県内 警報・注意報

警報・注意報はありません

夏の感染性胃腸炎に要注意

夏季の原因となる病原体は「カンピロバクター」「サルモネラ」「エルシニア」といった細菌が多くなる傾向にあります。

汚染された食品や水からの感染が多いですが、ペットなどの動物との接触により感染する場合があります。
手洗い、調理器具の消毒、しっかり加熱して食べる、買った食品はすぐに冷蔵庫に入れることを徹底しましょう!

症状は、腹痛・下痢が中心
発熱や血便を伴うこともあります



横手地域・学校欠席者情報 (8/24)

感染症情報収集システムより (人)

施設 (数)	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
保育所・園 (35)								2
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校								



肉を焼く時に使う箸やトングには、生肉の細菌がついてしまいます。食事用の食器類とは別に用意しましょう。
また生肉を扱ったまな板や包丁は熱湯などで十分消毒しましょう

